

論 点 整 理 (案)

1 対象事件の範囲等

- ◎ 対象事件に関し、以下の類型の事案をどのように取り扱うべきか。
 - ・ 性犯罪に係る事案
 - ・ 薬物犯罪に係る事案
 - ・ 被告人の請求する否認事案
 - ・ 死刑求刑事案
 - ・ 薬害、公害、食品事故等に係る事案
- ◎ 審理が極めて長期間に及ぶ事案について

2 裁判員等選任手続

- ◎ 甚大な災害発生等の非常事態時における裁判員等候補者の呼出しの在り方について

3 公判・公判前整理手続

- ◎ 迅速かつ充実した分かりやすい審理に関する運用上の問題について
 - ・ 主張及び証拠の整理等は適切に行われているか。
 - ・ 審理の長期化防止のため、運用上の工夫は適切に行われているか。
 - ・ 公判手続の更新は適切に行われているか。
- ◎ 公判・公判前整理手続に関するその他の問題点について
 - ・ 裁判員法第39条の説明方法等について
 - ・ 少年の被告人につき裁判員裁判を実施する場合の審理方法等について

4 評議、評決

- ◎ 評議の充実のための運用上の工夫は適切に行われているか。
- ◎ 被告人に不利な判断をする場合、特に、死刑を言い渡す場合における評決要件について

5 被害者等に対する配慮のための措置

- ◎ 被害者等の心情等への配慮のための運用上の工夫は適切に行われているか。
- ◎ 裁判員等選任手続における被害者等のプライバシー等の保護を通じたその負担への配慮の在り方について

6 上訴

- ◎ 死刑判決が言い渡された場合における上訴について

7 裁判員等の義務・負担に関わる措置等

- ◎ 裁判員やその経験者の負担に対する措置について
 - ・ 裁判員等の心理的負担への対応その他のケアの在り方について
 - ・ 守秘義務の範囲等について，裁判員等に十分な説明がなされているか。
- ◎ 守秘義務の範囲等の在り方について

8 その他

以 上